

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、神田清子、樺澤三奈子、横川史穂子、関睦美、小暮敏明、柏木夕香			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間	
	【担当教員】 【氏名】 ◎石田 和子 神田 清子 樺澤 三奈子 横川史穂子 関 睦美 小暮 敏明 柏木 夕香	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 同上 前橋ふえきクリニック 新潟県立新発田病院 がん看護専門看護師	【研究室】 317 319 318 204 301
【メールアドレス】 kazukoi@niigata-cn.ac.jp kkanda@niigata-cn.ac.jp minako-k@niigata-cn.ac.jp yokokawa@niigata-cn.ac.jp museki@niigata-cn.ac.jp			
【本学の科目区分】 専門分野			
【D P 1】 ◎ 【D P 2】 ○ 【D P 3】 ○ 【D P 4】 ○ 【D P 5】 ◎ 【D P 6】 ○			

到達目標	1. がん医療やがん看護・緩和ケアの動向について説明することができる。 2. がん患者のたどる経過（診断、インフォームドコンセント、集学的治療、社会復帰と在宅療養、End of Life Care）に沿って必要となる身体管理・看護ケアの概要について述べることができる。	
授業概要	がん医療の動向や政策とがん看護の特徴をふまえ、治療の選択における意思決定支援、手術療法、薬物療法、放射線療法を行う患者へのケア、全人的苦痛に対する緩和ケア・End of Life Care といったがん看護の基本的知識について学修する。がん看護・緩和ケア領域の実践・研究・教育に関する国内外の文献抄読を通して最新情報を習得し、討議を行いながらがん看護専門師に求められる役割や今後の課題についての考察を深めていく。	
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん医療の動向と政策 学修内容：・日本のがん医療の動向と政策（がん対策基本法など） 備考：石田
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：インフォームドコンセントと看護支援 学修内容：・がん看護におけるインフォームドコンセントと専門職としての在り方 備考：石田
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：QOL を高めるケア（1） 学修内容：・トータルペインと専門看護師の役割 身体的苦痛とマネジメント 備考：石田
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：QOL を高めるケア（2） 学修内容：・心理・精神的・スピリチュアル・ペインとマネジメント 備考：石田
	5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん治療と看護（1）：手術療法 学修内容：・がんの手術療法と看護ケアの概要 備考：石田
	6	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん治療と看護（2）：薬物療法 学修内容：・がんの薬物療法と看護ケアの概要 備考：石田

	7	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : がん治療と看護 (3) : 放射線療法 学修内容 : • がんの放射線療法と看護ケアの概要 備考 : 権澤
	8	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : End of Life Care と緩和ケア 学修内容 : • 緩和ケア・End of Life Care の概念、トータルペインとQOLを高めるアプローチ、終末期医療の動向、日本の文化における死 備考 : 石田
	9	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : Advance Care Planning(ACP)と意思決定 学修内容 : • アドバンスケアプランニングの概要と実際 備考 : 横川
	10	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 集学的治療とチームアプローチ 学修内容 : • 集学的治療の基本的理解とがん医療におけるチームアプローチ 備考 : 権澤
	11	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : がん患者・家族への生活再構築の支援 学修内容 : • がんに関連した医療制度や社会資源の活用 備考 : 柏木
	12	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 在宅がんケア 学修内容 : • 在宅がん患者の継続ケアシステムの構築と課題 備考 : 関
	13	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 支持療法における漢方薬の位置づけ (1) 学修内容 : • 緩和ケアと漢方 備考 : 小暮
	14	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 支持療法における漢方薬の位置づけ (2) 学修内容 : • 有害事象による末梢神経症状 備考 : 小暮
	15	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 専門看護師の実践活用 (1) 文献の活用と批判 学修内容 : • 専門看護師としての実践能力の向上 : がんの薬物療法 備考 : 神田
	16	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 専門看護師の実践活用 (2) 文献の活用と批判 学修内容 : • 専門看護師としての実践能力の向上 : 緩和ケア 備考 : 神田
	17	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : がん患者の家族ケア 学修内容 : • がん患者の家族の体験の特徴と看護 備考 : 権澤
	18	授業内容 授業形態 : 演習 学修課題 : 課題発表・評価 学修内容 : • 今後の展望 (課題) 備考 : 石田
事前・事後学習		事前学習 : 適宜指示する。 事後学習 : 適宜指示する。
評価方法、評価基準		到達目標に対して、授業参加状況 20%、ディスカッション 30%、レポート 50%を総合的に判断する。
テキスト		教科書は指定しない。
参考図書・資料等		必要時提示する。
受講、課題、資料配布等のルール		事前課題が課されることがある。課題をふまえてディスカッションを行う際には、事前に各自が提示する資料を作成し、人数分の資料を学生が準備する。
教員からのメッセージ		授業に関する質問等がある場合、メールアドレスにお問い合わせください。
オフィスアワー		石田、権澤が窓口として対応する。事前にメールで連絡すること。